



手作りのエコカーに試乗する部員

＊の文化部

機械研究部 (県立川口工業高校)

技術継承しエコカー開発

授業が終わると、13人の部員たちはオイルが染み付いたそろいの白色つなぎを着て、車の整備とエンジンなどの改造を繰り返す。燃費の良いエコカーの開発に取り組んでいるのだ。

エンジンは50CCのホンダのバイク用を利用するが、車体やフレームは手作り。1辺のガソリンで走行できる距離を競う大会に年に2回出場し、技術力を競っている。このうち、県内の工業高校チームによる7月の「エコカーコンテスト」では、川口工業高の2台が優勝と準優勝を果たした。

同校が製作したエコカーの総重量は7年前に約43キあったが、今は約34キと軽量化が進んでいる。これは、歴代の部員たちの「知恵」の積み重ねの成果だ。

部室には、大会の反省点やエンジン改造の注意点などを先輩たちが書き入れたノートを大切に保存。3年生の村岡秀則部長も「3年間で学んだ技術を後輩にできる限り残したい」と話す。

約半世紀の歴史がある機械研究部。モノづくりへの情熱とともに、技術の継承もクラブの良き伝統となっている。